

TAKADA KENZO

Colorer Paris, une révolution éternelle

高田賢三ゆかりの地マップ

世界的ファッションブランド「KENZO」の創設者、高田賢三(1939-2020)。

兵庫県姫路市で生まれた高田賢三さんは、上京し、文化服装学院に入学するまでの約18年間を姫路で過ごしました。

ファッションデザイナーとして世界的に活躍した後も、姫路でファッションショーを開催するなど、様々な形で故郷・姫路との関わりを大切にされました。

賢三さんのゆかりの地を巡りながら、姫路を観光してみませんか？



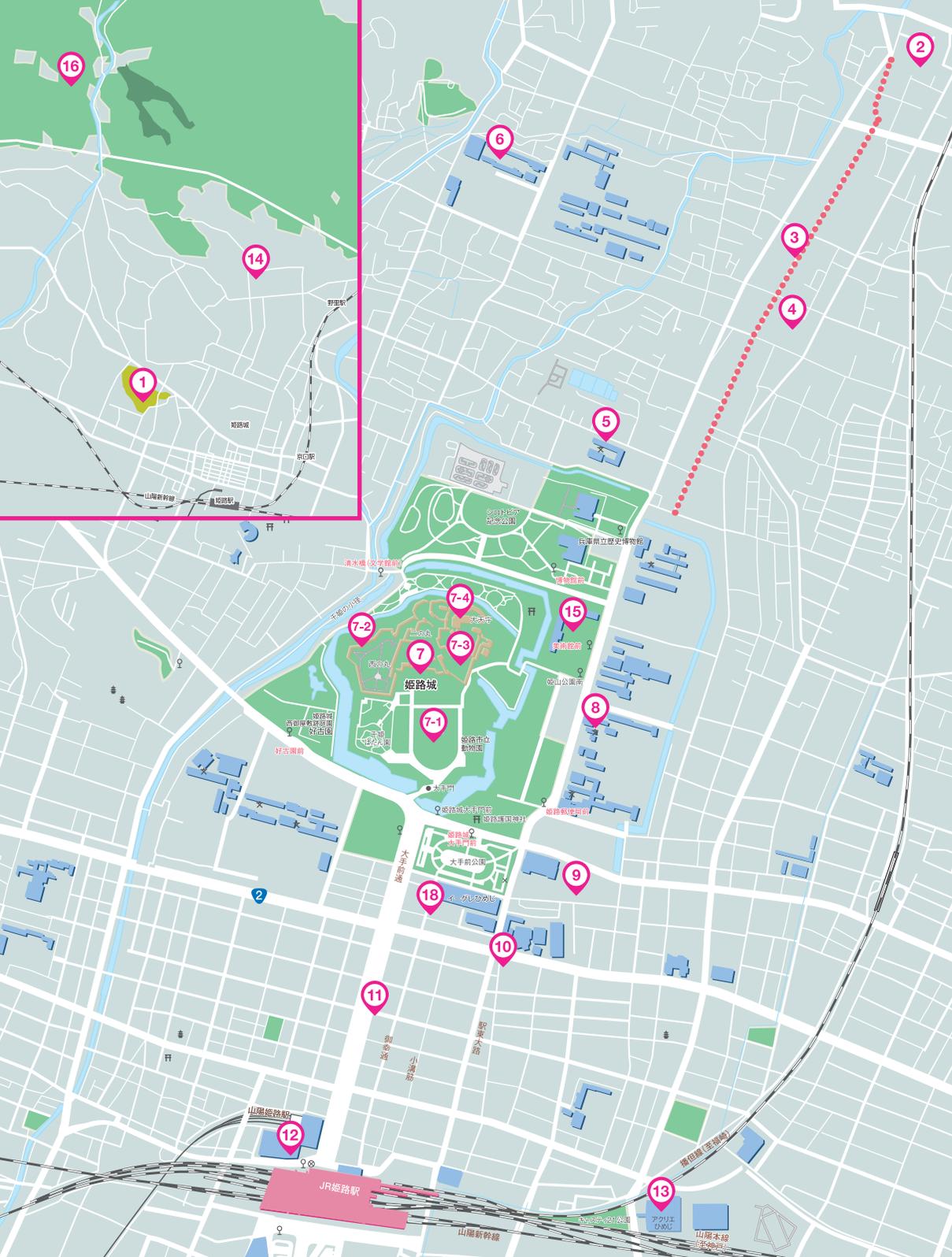
高田賢三プロフィール

1939年、兵庫県姫路市生まれ。1958年、文化服装学院に入学し、1960年に若手デザイナーの登竜門である「装苑賞」(第8回)を受賞。渡仏して5年後の1970年、パリで自らのブランドを立ち上げる。ファッションの常識にとられない革新的なデザイン、色や柄のコンビネーションは、国境を越えて瞬く間に人気となり、「木綿の詩人」「色彩の魔術師」と呼ばれ世界で絶賛された。1999年に「KENZO」から退いた後も、企業とのコラボレーションやオペラ衣装の制作、新たなブランドの立ち上げなど、精力的に活動した。故郷・姫路とも関わりが深く、展覧会やファッションショーの開催、姫路キャスパホールやアクリエひめじの緞帳のデザイン、フランスのシャンティイ城と姫路城の姉妹城提携の橋渡しなど多方面で尽力した。2020年、81歳で逝去。2021年には、「姫路市名誉市民」の称号を贈呈された。

高田賢三 2016年撮影 毎日新聞社

- | | | | | |
|--|---|---|---|--|
| 
1 名古山霊苑 | 
2 日吉神社 | 
3 旧野里街道 | 
4 慶雲寺 | 
5 姫路市立野里小学校 |
| 
6 兵庫県立姫路西高等学校 | 
7 姫路城 | 
7-1 姫路城(三の丸広場) | 
7-2 姫路城(西の丸長局/百間廊下) | 
7-3 姫路城(お菊井戸) |
| 
7-4 姫路城(刑部神社) | 
8 淳心会本部 | 
9 播磨国総社 | 
10 ちからCafe | 
11 十七八 |
| 
12 姫路キャスパホール | 
12-1 アクリエひめじ(大ホール) | 
12-2 アクリエひめじ(中ホール) | 
14 姫路市立広嶺中学校 | 
15 姫路市立美術館 |
| 
16 書寫山園教寺 | 
17 家島 | 
18 フォトスタジオ ism | <p>【問い合わせ先】姫路市観光コンベンション室 079-221-2121
 ※本地域には、観光地だけでなく学校・公共施設なども記載しております。これらの場所には内部非公開・関係者専用の場所が含まれます。お越しの際は、施設の運営状況を確認のうえ、地域の迷惑とならないよう節度をもって行動してください。</p> <p>※本マップは、「日本博2.0」事業として2025年に開催された「高田賢三展」に燃ゆ、永遠の革命児」の一環として制作されました。</p> <p>【制作】毎日新聞社(2025年)【画像協力】アクリエひめじ、家島観光事業組合、ちからCafe、フォトスタジオ ism、姫路市</p> | |





高田賢三さんの思い出スポットとエピソード

- 1 名古屋霊苑**

姫路市名誉市民が眠る名誉い地内に、高田賢三さんのお墓が2022年に建立された。中央の墓碑には、直筆の名前と高田家の家紋(丸に桔梗)、墓碑の右側には賢三さんが好きだった言葉「夢」の直筆文字と英字サイン、好きだった花「アネモネ」が、左側には「ばたん」と「バラの実」がデザインされている。墓の東隣には、落語家人間国宝の桂米朝さんの墓がある。
- 2 日吉神社**

840年に天台宗増位山随願寺の鎮守として造営。このすぐ近くにあった自宅が戦災で焼失したため、賢三さんは幼少期しばらく同神社の社務所で生活した。
- 3 旧野里街道**

賢三さんの実家から野里小学校までの通学路。古代より交通の要所として栄えた。街道沿いには今も昔のたたずまいが残った町家があちこちに残っている。
- 4 慶雲寺**

1443年に天台宗の寺院として創建。現在は臨済宗妙心寺派の寺院。当時、英語塾が行われていて、賢三さんは中学生のとき、英語を習いに1年間通った。
- 5 姫路市立野里小学校**

自然と絵が得意になり、学級新聞で4コマ漫画の連載を始めたところ好評で、賢三さんが描いたイラストが欲しいと、昼休みや放課後に行列ができるほどの人気者だった。
- 6 兵庫県立姫路西高等学校**

進学校だったため部活(生物部や美術部)を断念して、猛勉強した。外国生活にあこがれ、神戸市外国語大学を目指す。2000年に帰国した際には、同校を訪れ、生徒が企画・運営した「先輩・高田賢三さんを迎えて〜西高COLLECTION 2000」のトークショーに出演した。
- 7 姫路城**

姫路城 国宝姫路城は、1993年12月奈良の法隆寺とともに日本で初めての世界遺産となった。シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」とも呼ばれている。1989年には賢三さんがフランスのシャンティイ城との姉妹提携の橋渡しをし、立会人署名も行った。

7-1 姫路城(三の丸広場) 1989年5月はいじめの屋外ファッションショー「ケンゾー・IN・HIMEJI」が開催された。

7-2 姫路城(西の丸長局/百間廊下) 「内部が真っ暗で、お化けが出そうで怖かった」と後に語っている。

7-3 姫路城(お菊井戸) 怪談「播州皿屋敷」の話が聞かされた。友人とよく肝試しをした。

7-4 姫路城(刑部神社) 大天守最上層にまつられている。屋外ファッションショーが雨に見舞われ、賢三さんが晴天を祈願するために一人で参拝したところ、翌日は雨が止み、ショーは大成功した。
- 8 淳心会本部**

淳心会はカトリック男子修道会で、ミッションスクール淳心学院の母体。本部の建物は、戦前は陸軍師団長の官舎だった。賢三さんが小学校6年生のときこの建物を描いた絵が、絵画コンクールで市長賞に選ばれ、その後の人生に大きな自信を与えた。
- 9 播磨国総社**

正式名称は射撃兵主神社。播磨国総鎮守で姫路鎮護のお社。かつて境内に映画館があり、賢三さんは学校のテストが終わってから弟と一緒に、「若草物語」、「ロミオとジュリエット」などの洋画をよく見た。
- 10 ちからCafe**

1953年創業の老舗うどん店「ちから」が「ちからCafe」として2023年9月にリニューアルオープン。弟と二人で映画を見た後、賢三さんはよくここうどんを食べに行っていた。
- 11 十七八**

1932年創業の老舗おでん専門店。賢三さんは、おでんが好きで、パリから帰ってきた時よく買って自宅で食べた。
- 12 姫路キャスパホール**

姫路市の多目的ホールとして1991年に開館。ホールの緞帳《黎明》を賢三さんがデザインした。
- 13 アクリエひめじ**

13-1 アクリエひめじ(大ホール)、13-2 アクリエひめじ(中ホール) 姫路市文化コンベンションセンターとして2021年開館。ホールの緞帳(大ホール:《Sunrise》、中ホール:《Sunset》)は賢三さんのデザイン。
- 14 姫路市立広嶺中学校**

海外生活にあこがれて英語を習い始め、学芸会で英語劇を披露した。
- 15 姫路市立美術館**

1983年に開館。高田賢三など郷土ゆかりの作家の作品をはじめ、国内外の近現代美術の名品を所蔵している。赤レンガの建物は戦前は陸軍の被服庫・武器庫、戦後は市役所として使用されていた。「高田賢三展 パリに燃ゆ、永遠の革命児」(2025年)を始めこれまでいくつもの高田賢三の功績を紹介する展覧会を開催。賢三さんが橋渡しをした姫路城とシャンティイ城の姉妹提携を記念して植えられた「菩提樹」を庭園で見ることができている。
- 16 書寫山園教寺**

標高371mの書寫山山の上に位置する、西の比叡山と呼ばれる名刹。966年、性空上人によって開かれた。賢三さんは帰国の際に、摩尼殿や三之堂などを訪ねた。
- 17 家島**

姫路港から定期船で約30分の瀬戸内海の美しい島。海の幸が豊富で賢三さんもよく訪れていた。
- 18 フォトスタジオ ism**

1937年創業のイシダスタジオがカジュアルフォトスタジオとして2006年にオープン。定期的に行われていた地域振興イベント「HUGPHOTO×シアワセマルシェ」を主催。2018年に本町商店街で賢三さんの功績を紹介する展示を企画し、1万人を動員。これを記念して、お店の壁には賢三さん直筆の芍薬の花の絵とサインが描かれた。

※⑩⑬の緞帳は、特別公開を除き、通常は公演時のみご覧いただけます。